

兵解協だより

「全解工連「代表者・事務局長会議」「賀詞交歓会」が開催されました



開会の挨拶をする井上尚会長



開会の挨拶をする井上尚会長（交歓会）



祝辞を述べる谷脇土地・建設産業局長

平成29年2月8日(水)PM3時30分から、全解工連の「代表者・事務局長会議」が東京明治記念館で開催されました。井上会長の「開会の挨拶」に続き、各団体から情報提供や要望があり、福岡県からは、「解体積算資料本2016」をとりまとめ、会員に販売する旨の説明がありました。次に熊本県からは、熊本地震の被害家屋30,000戸の解体工事が12月頃に完了する見込みになったとの報告がありました。また、長野県からは、全解工連の組織の見直しについての要望が出されました。内容は、①事務局の体制の強化・増強、②コンサルタントの活用による情報発信、③各ブロック会議への執行部の出席・会長のメッセージの徹底、④各都府県の団体の名称の統一の4点で、井上会長は、ご要望について最大限の努力をする旨回答。ただし名称の統一は困難である旨回答。この後、国土交通省土地・建設産業課佐々木昇平課長補佐による「講演会」が開催されました。演題は、「改正建設業法の施行状況等について」で建設リサイクル法の施行状況並びに改正建設業法の施行状況について説明がありました。

次に、PM6:00から、「賀詞交歓会」が盛大に開催されました。全国の正会員35社80名、賛助会員27名院外理事2名など来賓を含め総勢100名を超す参加がありました。兵庫県からは、上原満会長他2名が参加いたしました。まず初めに井上会長の開会の挨拶に引続き、石井啓一国土交通大臣代理谷脇土地・建設産業局長が挨拶に立ち、続いて太田明宏前国土交通大臣、畑雄一郎元国土交通大臣、前田武志元国土交通大臣、室井邦彦元国土交通大臣政務次官が挨拶に立ち、その後、「賀詞交換会」が和やかな雰囲気の中で盛大に始まりました。会員同士の親睦が大いに深められ、PM8:00に賀詞交歓会は、閉会となりました。



賀詞交歓会の風景



祝辞を述べる室井邦彦参議員



室井議員と記念撮影